

## &lt;2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿&gt;

小さい取り組みながらも1つ1つを経営の中に組み込み、建売物件建築時は安心安全は勿論のこと、古くなった空き家を減らし、リサイクル・リフォームし再び活用できる対策を重点的に取り組みます。そして未来の世界の「持続可能な社会」に向け自然と共存する企業を目指します。

## &lt;SDGsに関する重点的な取り組み及び指標&gt;

三側面 (分野に ◎)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	空き家をリフォーム時に再生木材などにデザイン性を持たせ、リメイクし再利用する。	2020年1件→2023年3件
◎環境 ○社会 ○経済	事務所廻りに植栽を増やし平均気温上昇の防止に寄与する。	2023年中に増加させる
○環境 ○社会 ◎経済	年齢・性別を問わない中途採用の実施	中途採用の実施の有無 2020年 実施 2023年まで継続実施

## &lt;パートナーシップ&gt;

不動産・建築・空き家対策と様々な業種である自社と携わるすべての業者との間に関係を強化するとともに、SDGsにおける内容の取り組みを共有し、企業内部においても従業員のそれぞれの状況に応じ働きやすい職場環境の整備を図る

- ・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。